

平成30年度 市立川島中学校学校関係者評価（報告）

1 期日 平成31年2月27日（水） 午前10時00分から午前12時まで

2 会場 市立川島中学校 校長室

3 出席者 市立川島中学校学校評議員，校長，教頭

4 主な意見や感想

学校長から、今年度の課題への取組とその成果及び現在の生徒の実態を説明した後に、教頭から学校評価の分析資料を用いて概略の説明を行い、その後、学校教育目標や目指す学校像「五校」を踏まえてご意見を伺った。

(1) 進んで学び合う学校（学力向上の視点）

学校で表現力を育てる機会をたくさん設けているにもかかわらず、肯定の割合が低くなっているのは、生徒の「語彙力・聞く力」が身につけていないことによるのではないか。読書の際、本の内容を再検討したり、漢字検定の実施等を検討してはどうか。また、前回の授業参観の際に、机間巡視での個別指導を工夫しており、学力の2極化に対応していることが素晴らしい。家庭学習の課題を、丸写しで提出する生徒がおり、学力向上の観点からは内容の工夫が必要ではないかと思われる。

(2) 人権を尊重し楽しい学校（仲間づくり・人権感覚を育成する視点）

全国いじめサミットに2年連続で参加する等、日頃から学校全体で積極的にいじめ問題に取り組み、以前ほどいじめについて耳にすることが少なくなった。ただ、教職員の「いじめや差別を許さない態度が育っている」の項目において肯定の割合が少なくなっていた。学校が、「いじめはあるもの」という意識を常に持ち、小さいことでもいじめと認知し指導することに取り組んでいることを聞き、いじめを許さない強い姿勢がうかがえる。「いじめ防止缶バッジ」を希望者が自主的につけるような取り組みも素晴らしい。後は、なぜバッジをつけないのかということ进行调查することが必要である。

(3) 体を鍛え元気な学校（体力向上・健康管理の視点）

健康や規則正しい生活の指導に対して、生徒が9割近い高い評価をしている。また、部活動に対しては、生徒も保護者も8割を越えて積極的に取り組んでいると評価している。ただ、生徒数が少ない上に、部活動に参加していない生徒が多いようで気になる。体を鍛えるだけでなく、人と触れ合い、努力の中で挫折を経験し、そこから立ち上がることで、仲間と共に達成感を持って欲しい。

(4) 礼儀正しく美しい学校（道徳心・勤労奉仕の視点）

礼儀等のマナーの指導については、生徒・保護者ともに9割近い評価である。環境整備については、生徒に否定的な意見があるのは、本校が他校に比べてきれいな環境を作っていることに気付いていないように思われる。今後も環境整備に努めて欲しい。あいさつについては、きめられた状況でできるだけでなく、いつでも自らあいさつできるようにして欲しい。

(5) 規則を守り安全安心な学校（公共心・防災・学習環境整備の視点）

時間やきまりについては、保護者・生徒とも9割以上が学校から指導を受けていると答えており、厳しくしつけていることが分かる。ヘルメットをかぶっていない生徒を見かけることがほとんどなく、指導が行き届いている成果だと思う。

(6) 生徒のこと、情報公開等、その他

「将来の夢を持っている」という生徒が半分を超え、「とことん続ける目標」の設定、キャリア発表会や職場体験等のキャリア教育の取り組みの成果ができていているのが分かる。今後もこの取り組みを続け、自己肯定感を持つことができる生徒を育てて欲しい。

5 まとめと課題

学校評議員の皆さんには、事前にアンケート結果と分析の資料をお届けし、ご意見やご感想をまとめて来ていただき、本校の課題に対して焦点化したご意見を多数頂戴した。

学校評議員として、学校行事への参加や授業参観、部活動の取組、生徒の日頃の生活態度などについて常に関心をもち、生徒に機会があれば声を掛けるなどして下さっており、生徒や保護者、地域の実態を踏まえた本校教育活動への貴重なご示唆をいただけた。今回いただいたその他の意見や提案について、次年度の目標設定や具体的な活動計画に反映させ、地域に開かれ、すべての生徒や保護者にとって魅力ある学校づくりに努めていきたい。